

## 私のふくい探訪

トビタテ!  
福井の  
若者

新型転換炉「ふげん」や高速増殖炉「もんじゅ」に関する仕事をしていたことがあるので、私にとって福井はとても身近な存在だ。福井が「県民幸福度」や「子供の幸福」が日本一というのは何故だろうかと思いつつと思ってきたが、調べてみると「女性の有業率」「平均貯蓄率」「完全失業率の低さ」なども日本一である。女性が働きやすい環境があり、いわゆるダブル・インカムで世帯収入も東京を

上回り全国1位だ。祖父母も一緒に3世代同居率も全国のトップクラスで、家族が大変大事にされ、家庭環境が安定していることは子供にとって幸せだ。県民幸福度日本一には地域の伝統に支えられた理由があり、なるほどと思う。

私が関心を持つもう一つが福井の若者だ。文部科学省では2007年から、小学6年生と中学3年生を対象に国語と算数(数学)の全国学力テストを実施している(2012年度

は理科を追加)。2014年は、福井県の正答率が秋田県の71.8%に次いで第2位の70.5%だった。福井の教育や家庭環境の良さなどにより、児童や生徒に実力が付いている証拠だ。しかし、勉強は高校、大学と続く。そして卒業後は自分の選んだ仕事をして、企業や地域、更には国、世界の発展にも貢献することが期待される。福井の若者には是非そのような人材に育ってほしい。



前駐ウクライナ特命全権大使

さかた とういち  
坂田 東一

東京大学大学院修了後、科学技術庁(現文部科学省)入庁。2009年～2010年文部科学事務次官、2011年～2014年駐ウクライナ特命全権大使。現在は文部科学省科学技術・学術政策研究所シニアフェロー、一般社団法人日本原子力産業協会特任フェロー、他

その一助となる「トビタテ!留学JAPAN」という文科省初の官民協働プログラムが昨年度に発足した。世界で、又は世界を視野に活躍できる人材を育成することが目的である。民間からの寄附は昨年度末までに100億円を突破した。学生の日本代表を支援して2020年までの7年間に1万人を海外派遣しようというものだ。昨年度既に学生323名が留学し、今年度前期にも256名が派遣される。新たに、地域の活性化のための「地域人材コース」や「高校生コース」も設けられ、今年度に初めて300名の高校生が派遣される。多くの福井の若者が「トビタテ!留学JAPAN」に挑戦し、世界に「トビタテ!ほしい。

## エネルギーとこと

意見広告

原発の再稼働は、安全性の確保を大前提に広く国民の理解が得られることが大前提です。国は、原発の安全性に対する国民の不安を払拭し、再稼働の必要性を強く説明・説得しなければなりません。

福井県経済団体連合会 会長 川田 達男

福井県環境・エネルギー懇話会  
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1  
福井商工会議所ビル 6F  
TEL.0776-33-7050

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

次回掲載は

瀧野 欣彌氏 6月20日(土)掲載予定

※掲載日は前後する場合がございます。ご了承ください。